



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 ニッキ
 コード番号 6042 URL <http://www.nikkinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 和田 孝
 (氏名) 田中 宣夫

TEL 046-285-0227

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,230	△26.4	30	△94.2	20	△96.5	△181	—
2020年3月期第3四半期	5,751	△2.1	519	4.7	588	△11.0	398	△20.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 154百万円 (△10.7%) 2020年3月期第3四半期 173百万円 (△51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△95.46	—
2020年3月期第3四半期	210.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	13,337	7,543	56.4	3,953.40
2020年3月期	13,056	7,530	57.4	3,959.96

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,521百万円 2020年3月期 7,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△15.0	115	△82.0	70	△90.3	△100	—	△52.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	2,000,000 株	2020年3月期	2,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	97,336 株	2020年3月期	107,336 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,898,775 株	2020年3月期3Q	1,888,661 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「(1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞後、経済活動のレベルが段階的に引き上げられる中で、個人消費、生産、輸出等を中心に一部では持ち直しの動きが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大も懸念されており、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

また、世界経済も、長期化する米中貿易摩擦や米国新政権の政策による影響に加え、新型コロナウイルス感染症の再拡大・長期化等のリスク要因もあり、先行きは一段と不透明感を増しております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、第2四半期までは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年度を大きく下回って推移しましたが、第3四半期以降、北米市場を中心に回復傾向にあり、連結売上高は42億3千万円（前年同期比26.4%減少）となりました。

損益につきましては、生産体制の見直しや採算性の改善効果等もあり、営業利益は3千万円（同94.2%減少）、経常利益は2千万円（同96.5%減少）となり、第2四半期までの損失計上から大きく改善いたしました。一方、保有資産の有効活用を図るための本社厚木工場の建替え・移設に伴う減損損失の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億8千1百万円（前年同期は3億9千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

ガス機器事業は、中国市場向け製品の販売減少等により、売上高は17億5千8百万円（同30.5%減少）、セグメント損失は2億3千7百万円（前年同期は1億6千4百万円の利益）となりました。

汎用機器事業は、主要マーケットである米国市場の販売減少等により、売上高は17億2千1百万円（同29.1%減少）、セグメント損失は3千1百万円（前年同期は5千7百万円の利益）となりました。

自動車機器事業は、インド市場の販売減少やフォークリフト向けキャブプレターの販売減少等により、売上高は3億3千6百万円（同11.0%減少）、セグメント損失は1千3百万円（前年同期は2千4百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業は、売上高は4億1千4百万円（同0.3%減少）、セグメント利益は3億1千3百万円（同2.9%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は133億3千7百万円と、前連結会計年度末と比べて2億8千1百万円増加しました。主な増減項目は、投資有価証券の増加（5億8千8百万円）、その他の有形固定資産の増加（4億1千7百万円）、現金及び預金の減少（4億9千6百万円）、建物及び構築物の減少（2億5千万円）であります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は57億9千4百万円と、前連結会計年度末と比べて2億6千8百万円増加しました。主な増減項目は、その他の流動負債の増加（3億6千4百万円）、賞与引当金の減少（7千6百万円）であります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は75億4千3百万円と、前連結会計年度末と比べて1千2百万円増加しました。主な増減項目は、その他有価証券評価差額金の増加（4億1千1百万円）、利益剰余金の減少（3億4千6百万円）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年1月27日に「減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、通期の連結業績予測につきましては、売上高は北米市場を中心に回復傾向にあり、当初予想を達成する見込みであります。また、損益面は、生産体制の見直しや採算性の改善効果等もあり、営業利益・経常利益につきましては前回予想値を上回る見込みであります。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、2020年12月23日にお知らせしましたとおり、保有資産の有効活用を図るため、当社は本社厚木工場の建替え・移設を予定しており、これに伴い現本社厚木工場の将来使用見込みがなくなったことによる減損損失の計上を主因に前回予想値を下回る見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,199,350	3,702,756
受取手形及び売掛金	892,428	849,776
電子記録債権	294,824	238,495
商品及び製品	970,746	875,930
仕掛品	1,069,691	1,067,592
原材料及び貯蔵品	73,228	71,376
その他	179,201	522,667
貸倒引当金	△6,415	△5,814
流動資産合計	7,673,054	7,322,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,650,303	2,400,202
機械装置及び運搬具(純額)	880,845	792,778
その他(純額)	676,242	1,093,780
有形固定資産合計	4,207,392	4,286,761
無形固定資産	53,395	45,494
投資その他の資産		
投資有価証券	1,071,139	1,659,593
その他	51,727	23,249
投資その他の資産合計	1,122,867	1,682,843
固定資産合計	5,383,655	6,015,098
資産合計	13,056,709	13,337,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,844	314,583
電子記録債務	323,950	265,010
短期借入金	2,404,014	2,300,000
未払法人税等	57,285	34,247
賞与引当金	150,316	74,237
その他	545,924	909,930
流動負債合計	3,837,335	3,898,010
固定負債		
長期借入金	50,000	150,000
退職給付に係る負債	882,360	822,004
その他	756,471	924,341
固定負債合計	1,688,832	1,896,346
負債合計	5,526,167	5,794,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	44,762	44,762
利益剰余金	6,844,872	6,498,145
自己株式	△253,426	△229,815
株主資本合計	7,136,208	6,813,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436,031	847,509
為替換算調整勘定	△42,553	△107,445
退職給付に係る調整累計額	△34,811	△31,168
その他の包括利益累計額合計	358,666	708,895
非支配株主持分	35,667	21,536
純資産合計	7,530,541	7,543,524
負債純資産合計	13,056,709	13,337,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,751,941	4,230,710
売上原価	4,155,140	3,225,023
売上総利益	1,596,800	1,005,686
販売費及び一般管理費	1,077,288	975,440
営業利益	519,512	30,245
営業外収益		
受取利息	9,385	10,732
受取配当金	47,008	33,516
為替差益	10,235	—
その他	26,974	24,468
営業外収益合計	93,603	68,717
営業外費用		
支払利息	24,662	23,191
為替差損	—	55,341
その他	0	0
営業外費用合計	24,662	78,532
経常利益	588,453	20,430
特別利益		
固定資産売却益	—	252
特別利益合計	—	252
特別損失		
固定資産除売却損	93	59
減損損失	—	154,661
特別損失合計	93	154,720
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	588,359	△134,037
法人税等	183,140	76,960
過年度法人税等	—	△17,981
四半期純利益又は四半期純損失(△)	405,219	△193,016
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7,076	△11,766
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	398,142	△181,249

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	405,219	△193,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,705	411,478
為替換算調整勘定	△82,524	△67,255
退職給付に係る調整額	13,496	3,643
その他の包括利益合計	△231,733	347,865
四半期包括利益	173,485	154,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,902	168,979
非支配株主に係る四半期包括利益	7,582	△14,130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済環境は世界的に急激に悪化しており当社グループにつきましても、顧客からの受注の減少が顕著になって来ております。このような環境下においては、新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ不透明であり、経済活動への影響を予測することが非常に難しい状況となっております。このため、当社グループにおいては、第3四半期以降徐々に回復傾向となっているものの、2021年3月までは当該影響が継続するものと仮定し、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による影響は、不確定要素が多いことから、翌連結会計年度以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	2,528,892	2,428,939	378,342	415,767	5,751,941	—	5,751,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,528,892	2,428,939	378,342	415,767	5,751,941	—	5,751,941
セグメント利益又は 損失(△)	164,330	57,174	△24,911	322,919	519,512	—	519,512

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ガス機器 事業	汎用機器 事業	自動車機 器事業	不動産賃 貸事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	1,758,120	1,721,352	336,800	414,437	4,230,710	—	4,230,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,758,120	1,721,352	336,800	414,437	4,230,710	—	4,230,710
セグメント利益又は 損失(△)	△237,996	△31,716	△13,664	313,623	30,245	—	30,245

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社は本社厚木工場の建替え・移設を決議したことに伴い、現本社厚木工場の将来使用見込みがなくなったことから、減損損失154,661千円を特別損失に計上しております。報告セグメント毎の金額は、ガス機器事業97,038千円、汎用機器事業39,654千円、自動車機器事業17,967千円であります。